

製品名: SIRT1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21606**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:81kD;Observed MW:130kD

抗原情報

遺伝子名	SIRT1
別名	SIRT1;SIR2L1;NAD-dependent protein deacetylase sirtuin-1;hSIRT1;Regulatory protein SIR2 homolog 1;SIR2-like protein 1;hSIR2
遺伝子 ID	23411.0
SwissProt ID	Q96EB6
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

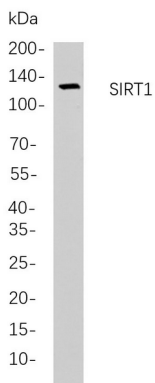
細胞局在: 核。この遺伝子は、酵母 Sir2 タンパク質の相同遺伝子であるサーチュインファミリータンパク質をコードしている。サー

チュインファミリーのメンバーはサーチュインコアダメインを特徴とし、4つのクラスに分類される。ヒトサーチュインの機能はまだ解明されていないが、酵母サーチュインタンパク質はエピジェネティックな遺伝子サイレンシングを制御し、rDNAの組換えを抑制することが知られている。研究によると、ヒトサーチュインはモノADPリボシルトランスフェラーゼ活性を持つ細胞内調節タンパク質として機能する可能性が示唆されている。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サーチュインファミリーのクラスIに分類される。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2008年12月]

研究分野

-

画像データ



SIRT1 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。